

# 探究のサイクルを学ぶ！地域科学探究 前半レポート



1年生全員が取り組む「地域科学探究」。  
この授業は、6月からのゼミ活動で行う  
「探究のサイクル」を学ぶ授業です。

今年度は、地域の課題やテーマに対して  
「問い」を立て、仮説を考え、実際の  
フィールドワークに臨むという一連の「探  
究のサイクル」を体験する授業を設定しま  
した。

本記事では、4月から5月にかけて実施さ  
れた前半5回の授業内容を紹介します。

## NASAゲーム (協働ワーク)

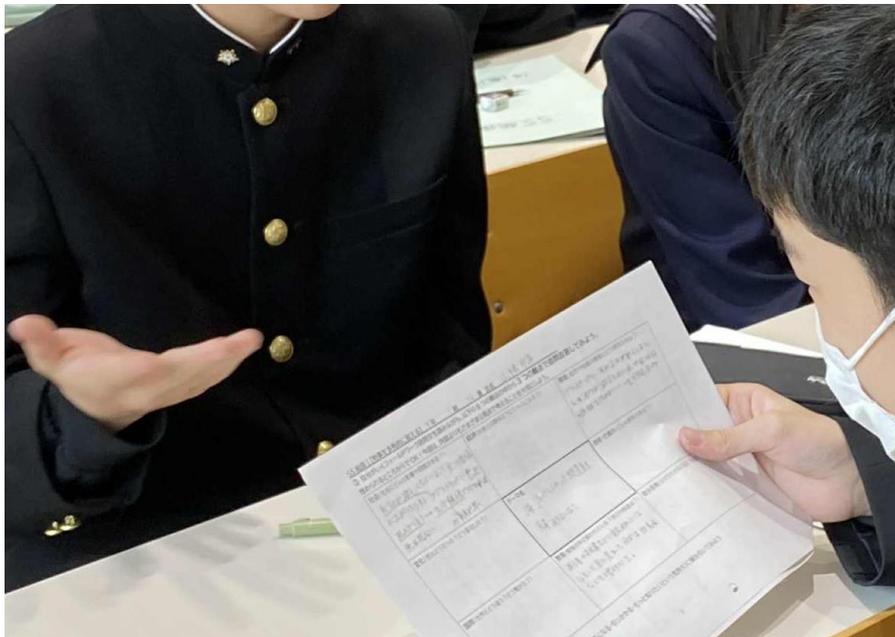
15分間、グループで話し合おう (対話)

1. 自分の意見を表現する(話し合いに参加する)
2. 他人の意見をしっかり聞く
3. 納得したら変える

**15:20**まで!

全員が納得できる回答を導き出してください!

## 第1回: ガイダンス / 第2回: 物事を多角的に捉える



探究の出発点となる「**問いのタネ**」を見つけるために、多様な視点からテーマを見る練習をしました。

例えば以前流行した「かわいいだけじゃだめですか？」という曲のタイトルを問いのテーマとし、自分の考えと他者の意見の違いを比べ、多角的な視点での考察を深めました。

また、自分が選んだフィールドワーク先のテーマに対して、社会・経済・環境などの観点で**自問自答**し、「問いのタネ」を探しました。

## 第3回:問いを立てる / 第4回: 問いと対話講演会

「疑問」と「問い」の違いを学びながら、より深い探究へつながる「問い」の作り方を学びました。

「なぜ?」「本当?」「どうなる?」といった様々な切り口から問いを出し、単なる疑問から本格的な探究課題へと発展させていく手法を体験。

フィールドワーク先の実際のテーマを題材に、自分なりの問いを作成しました。

第4回の講演では、外部講師を招き「問いと対話」の関係を学びました。

詳細は「問いと対話講演会」の記事をご覧ください。

## 第5回: 仮説と検証方法を考える



探究において不可欠な「仮説」と「検証方法」について学びました。

「問い」に対して自分なりの仮説 (=こうなのではないか? という予想) を立て、その仮説を確かめるためにはどのような調査や観察が必要かを考えるワークを実施。

問いの質を高め、より具体的なフィールドワークに備える時間となりました。

# 最後に

生徒たちが自分自身と向き合い、地域の課題に真剣に向き合う姿が印象的でした。

今回の授業にご協力いただいた講師の皆様、地域の関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

次回は、フィールドワークの様子をご紹介します。お楽しみに！

